

第63回日本透析医学会学術集会

透析支援システムによる 業務変化について

医療法人いつき会 いつきクリニック一宮



目的

H27年10月 ニプロ社製多人数用透析監視装置NCV-3及び
個人用透析監視装置NCV-10へ入れ替え

H28年2月 ニプロ社製透析支援システムDiaCom iP(以下DiaCom)を導入
※DiaCom単体の導入。紙カルテとDiaComと併用。

DiaCom導入前後の透析業務の変化及びヒューマンエラーの変化をアンケート
形式で比較したので、結果を報告する。

方法

DiaCom導入時より当院に在籍している医療スタッフ17名を対象に
業務の効率化及びヒューマンエラーについての
アンケート調査を実施

アンケート内容

問1.業務が効率化されたと感じる作業を選択して下さい。(複数回答可)

- ☐ 体重測定 ☐ 透析記録の入力 ☐ 透析記録の確認 ☐ 透析開始作業 ☐ 透析終了作業
☐ 看護サマリー作成 ☐ 検査データ管理 ☐ 透析関連物品の準備 ☐ 透析条件の変更
☐ その他()

問2.業務負担が増したと感じる作業を選択して下さい。(複数回答可)

- ☐ 体重測定 ☐ 透析記録の入力 ☐ 透析記録の確認 ☐ 透析開始作業 ☐ 透析終了作業
☐ 看護サマリー作成 ☐ 検査データ管理 ☐ 透析関連物品の準備 ☐ 透析条件の変更
☐ その他()

問3.透析支援システムはヒューマンエラーの削減に寄与していると感じますか？また、その理由についてもお答え下さい。

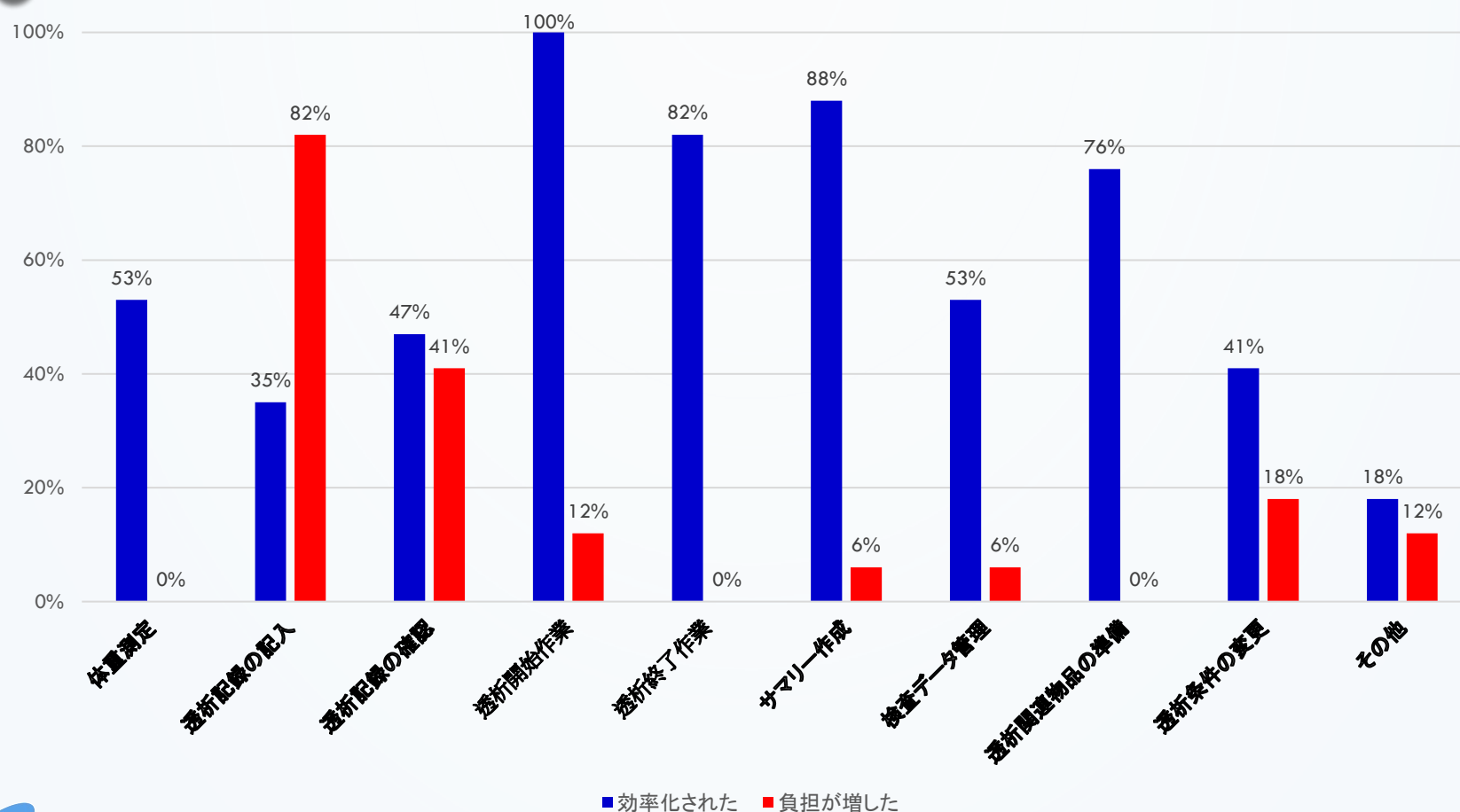
アンケート結果① 業務体系について

- 体重測定 効率化された 11件 負担が増した 0件
- 透析記録記入 効率化された 6件 負担が増した 14件
- 透析記録確認 効率化された 8件 負担が増した 7件
- 透析開始作業 効率化された 17件 負担が増した 2件
- 透析終了作業 効率化された 14件 負担が増した 0件

アンケート結果① 業務体系について

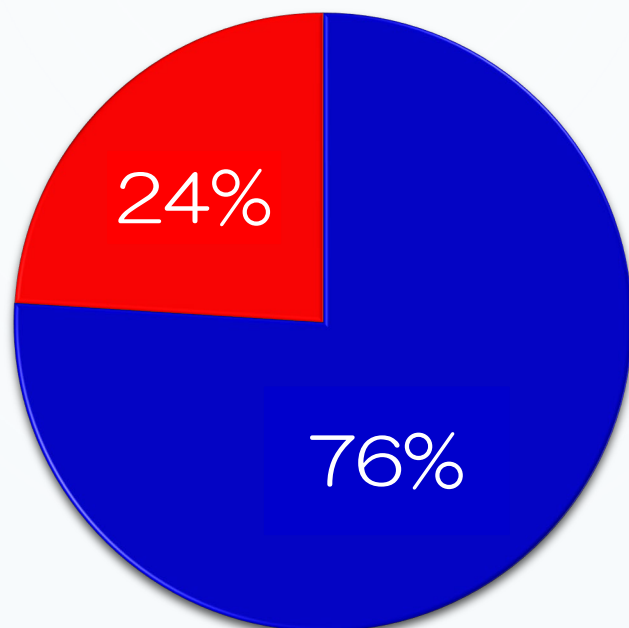
- サマリー作成 効率化された 15件 負担が増した 1件
- 検査データ管理 効率化された 9件 負担が増した 1件
- 透析関連物品の準備 効率化された 13件 負担が増した 0件
- 透析条件変更 効率化された 7件 負担が増した 3件
- その他 効率化された 3件 負担が増した 2件

アンケート結果① 業務体系の変化について



アンケート結果② ヒューマンエラーについて

問3.透析支援システムはヒューマンエラーの削減に寄与していると感じますか？



■ はい ■ いいえ

考察

問1問2より

多くの作業が効率化された。しかし透析記録の入力においては作業負担が増したという意見が多かった。入力作業に不慣れなスタッフが多く、それに関して訓練を導入前に行わなかった事が原因と考えられる。また、端末数に限りがあり、その場で入力できないことも原因と考えられる。

問3より

76%のスタッフがヒューマンエラーの削減に寄与していると感じる結果となった。それは、DiaComで管理し、自動化された業務が増えた事が大きく影響していると考えられる。しかし、透析条件や薬剤の変更時など人が携わる時はミスが誘発され、事象毎に合わせた対策が必要となる。

まとめ

DiaComを導入して、作業効率は向上し、ヒューマンエラーも減少してきている。しかし、まだ改善の余地はある。今後もDiaComを有効活用し、業務改善及びスタッフ教育を継続していきたい。

日本透析医学会 COI 開示

筆頭演者: OOOO

演題発表に関連し、開示すべきCOI 関係にある
企業などはありません。